

九大病院だより

Public Relations Magazine of Kyushu University Hospital 2011.01



九州初の脳死下小腸移植 実施—小児外科、小腸移植外科



脳死下小腸移植手術の様子

かいました。ドナー手術の進行に合わせて九州大学病院でもレシビエント（臓器移植者）の手術を開始しました。ドナーから摘出した小腸を九州大学病院へ搬送し、小腸グラフトの血管吻合¹、消化管吻合を行い無事手術が終了しました。術後は懸念された拒絶反応も認められず、移植した小腸からの栄養吸収も問題なく行えています。術後2か月目には、中心静脈栄養²から完全に離脱し、4か月目に無事退院しました。

小腸移植は、欧米を中心に2000例を超える症例が全世界で行われ、確立された医療となっていますが、我が国では、これまでに20回の小腸移植が行われたに過ぎません。そのため、臓器移植の中で唯一保険診療として認められておらず、今後、小腸移植の必要な患者さんが1日でも早く適切な移植医療が受けられるようになることが望まれています。



九州大学病院に到着した小腸グラフト

昨年9月、九州では初めてとなる脳死下小腸移植が九州大学病院小児外科、小腸移植外科で実施されました。小腸移植は、短腸症候群あるいは小腸運動機能障害による小腸不全の患者さんに対して行われる臓器移植で、他臓器に比べて拒絶反応が生じやすいため、最も難しい臓器移植の一つと言われています。

当日、日本臓器移植ネットワークからドナー（臓器提供者）発生の連絡を受け、当科医師が臓器提供病院へ臓器摘出に向

¹吻合：血管や腸管などを縫い合わせてつなげること
²中心静脈栄養：太い血管からの点滴により高カロリーの栄養補給をすること

お問い合わせ ☎日本臓器移植ネットワーク ☎0120-78-1069
☎九州大学病院小児外科、小腸移植外科（小腸移植） TEL 092-642-5578 診療日 月・水・金

外来案内ボランティアのみなさんが賞を授与されました

去る11月5日「平成22年度福岡市福祉のまちづくり推進大会」が福岡市民会館で開催され、本院外来案内ボランティアのみなさんが福岡市社会福祉協議会より協議会賞、福岡市より市長感謝状を授与されました。

外来案内ボランティアは平成9年に発足し、現在19名の方が活動しています。仕事や家事のかたわら、外来受診の患者さんへのサービスをしていただいています。

これからもご支援よろしくお祈りします。



外来診療日一覧

●休診日 土曜日、日曜日、祝日、年末年始(12/29-1/3)
●初診受付時間 8:30-11:00(窓口)
●再診受付時間 8:15-17:00(自動再来受付機)、8:20-17:00(窓口)
●外来玄関開閉時間 7:30-18:00

■外来診療棟

階	診療科名	初診日	再診日
4階/西	心療内科 TEL 642-5335	月・木	火・水・金
	呼吸器科 TEL 642-5388	月・水・金 ※要紹介状	月・火・水・金
	■外科 ○消化管外科(1)○胆道・膵臓・脾臓移植・腎臓移植外科 ○呼吸器外科(1)○乳腺外科(1) ○内分泌外科 TEL 642-5453	火・木	火・木
	■外科 ○消化管外科(2)○肝臓・脾臓・門脈・肝臓移植外科 ○呼吸器外科(2)○乳腺外科(2) ○血管外科 TEL 642-5479	月・水・金	月・水・金
先端工学診療部 TEL 642-5993	月・水・金	月・水・金	
4階/東	産科婦人科 TEL 642-5409	月-金 ※要紹介状	月-金
	ペインクリニック(麻酔科蘇生科) TEL 642-5719	月・火・水・金	月-金
4階/東2	再生歯科・インプラントセンター TEL 642-6361	月-金	月-金
3階/西	■内科 ○血液・腫瘍内科 ○免疫・膠原病・感染症内科 ○消化管内科○腎・高血圧・脳血管内科○内分泌代謝・糖尿病内科○肝臓・膵臓・胆道内科 TEL 642-5302	月-金 ※専門の疾患によって曜日が変わります。お問い合わせの上お越しください ※要紹介状	月-金
	○先端分子・細胞治療科 TEL 642-5302	月-金	月-金
3階/東	■ハートセンター外来 ①循環器内科②血液・腫瘍内科 TEL 642-5371	①月-木 ②火-金	①月・水 ②火・金
	③心臓血管外科 TEL 642-5565	③月・水・木	③水・木
皮膚科 TEL 642-5597	月・水・金 ※要紹介状	火・木	
	耳鼻咽喉・頭頸部外科 TEL 642-5681	火・木	月・水・金

■北棟

階	診療科名	初診日	再診日
2階/西	神経内科 TEL 642-5349	火・木・金	月・水
	脳神経外科 TEL 642-5533	月・水・金	月・水・金
2階/西第2	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科 TEL 642-5615	火・木	月・水・金
	精神科神経科 TEL 642-5640 子どものこころの診療部 TEL 642-5642	火・木	月-金
2階/東	眼科 TEL 642-5660	月・水・金	月-金
1階/西	整形外科 TEL 642-5504	月・水・金	金
	放射線科 TEL 642-5705	月・水・金	月-金
	総合診療科 TEL 642-5300	月-金	月-金

棟	階	診療施設等	電話番号
外来診療棟	4階	ストーマ看護外来(月-金)	642-5479
		助産師外来(月-金)	642-5900
		糖尿病フットケア外来(金)	642-5302
	3階	リンパ浮腫外来(火)	642-5985
	2階	外来化学療法室・緩和ケア	642-5125
		がん相談支援室	642-5200
		総合案内	642-6270
		外来受付	642-5138
		入院受付	642-5150
		公費相談窓口	642-5153
1階	支払窓口	642-5169	
	患者様相談窓口	642-5132	
	地域医療連携センター	642-5165	
	社会福祉相談窓口	642-5167	
	在宅療養支援室	642-5185	
	高度先端医療センター	642-5858	
	2階	栄養相談室	642-5180
南棟	1階	時間外受付	642-5163
		リハビリ受付	642-5862

平成23年1月現在

※赤色の曜日は予約が必要です。 ※電話予約受付時間14:00-16:00 予約に関するお問い合わせは、各診療科外来へ直接お電話ください(市外局番は「092」です)。
※再来の方でも、1年以上受診されていない場合には、初診の日・時間となり、紹介状をお持ちでない方は治療費とは別に保険外併用療養費として3,150円が必要となる場合があります。あらかじめ受診科「外来」にお確かめ願います。

病院にお越しの際は保険証をお忘れなく！
※保険証の提示がない場合には、保険での取扱いができません。

■外来患者さんへ
●本院のお薬は原則として「院外処方」として、「院外処方せん発行」にご協力ください。
●外来患者さん用の駐車場を準備していますが、駐車台数が限られていますので出来るだけ公共の交通機関をご利用いただきますようお願いいたします。

■病院の理念
患者さんに満足され、医療人も満足する医療の提供ができる病院を目指します。

■基本方針【理念に基づく実行目標として、下記の5つを掲げています】
①地域医療との連携及び地域医療への貢献の推進
②プライマリ・ケア診療の充実
③全人的医療が可能な医療人の養成
④専門医療の高度化を目指した医学研究の推進
⑤国際化の推進



失われた時に気づくもの
集中治療部長
すぎもり ひろし
杉森 宏
Hiroshi Sugimori

前から3列目右端が本人
本院の集中治療室(ICU)は最重症病床20床からなるユニットで、術後の患者さんや、急変した入院患者さん、救急搬送された方々の治療に携わっています。当然ながら、通常の病床よりも生死を分ける場面に遭遇する頻度が高いところでも

あります。
しばしば交通事故で救急搬送後、ICUに入室した方の治療を担当しますが、ほとんどの場合以前には想像しえなかった姿での対面に、驚きと深い悲しみに捉われたご家族を目にします。ICUでの治療に携わっていると、日常生活の何気ない言葉や所作がいかにかげりを感じさせられます。皆さんは、普段の生活で身内が事故に遭う可能性など考えながら生活することはないでしょうか。でも慌ただしい朝に「行ってらっしゃい」「行ってきます」の挨拶もなしに出かけて行ってこんな姿になったら…。
皆さんはいつも家族の中で挨拶を掛けあっていますか？日頃からのちょっとした挨拶、日々の感謝の気持ちを言葉にして伝えることがいかに大事かを考えてもらえたら幸いです。

▶▶▶ 診療科のご案内

全身管理歯科

全身管理歯科では、病気のため入院・通院で治療中の患者さんの歯科治療を、医科の診療科と連携を取りながら行っています。手術や抗がん剤・放射線治療を受ける患者さんが多く来院する中、積極的に取り組んでいるのは、全身麻酔で手術を受ける患者さんに対し、入院前から必要な歯科治療や専門的な口腔清掃を行うことです。

重度の虫歯や歯そうのうろうを起す細菌は、身体の中で他の病気を発症させる可能性があります。また、歯の表面やお口の中の粘膜にはたくさんの細菌が付着していて、うがいや歯ブラシでも除去できません。この細菌が全身麻酔に使う挿管チューブとともに、気管や肺に押し込まれる可能性があり、手術後に誤えん性肺炎を引き起こします。このような術後の合併症を予防するために、手術を受ける患者さんを口腔管理の面で支援しています。



食物残渣やプラークで汚染された口腔内



手術前の専門的な口腔清掃後

▶▶▶ 施設のご案内

薬 剤 部



病棟薬剤師が付けているバッジ

薬剤部は、医薬品を専門に取り扱う部門として、有効で安全性の高い薬物療法の提供に貢献するため、すべての患者さんと医療スタッフへの良質な薬剤業務サービスを実施しています。

主に、内用・外用薬の調剤、注射薬の個人別セット調剤と調製、薬物血中濃度測定とモニタリング、医薬品情報の収集と医療スタッフへの情報提供、入院患者さんへの薬剤管理指導業務などを行っています。

特に、入院病棟には薬剤師が常駐し、治療薬の効果や副作用について、わかりやすい資料や副作用チェックシートを用いた説明を行うなど、医療スタッフと連携して治療に携わっています。

お薬について気になることがありましたら、遠慮なく薬剤師にお尋ねください。

■ 心臓リハビリテーション室を増設

平成22年11月、リハビリテーション部（南棟1階）の施設内に、心臓リハビリテーションの専用施設を増設しました。この「心臓リハビリ」は、狭心症や心筋梗塞、心不全、心臓外科手術後などの患者さんを対象としたストレッチや有酸素運動、筋力トレーニングや歩行練習などの運動療法を主体として、事前の精密な体力チェック（運動負荷試験）から、食事の工夫など日常生活での療養指導までを含む包括的なメニューで構成されています。

本院での心臓リハビリは、平成17年に小規模にスタートして以来、内容を充実させて平成19年には厚生労働省の定める最高の施設基準（心大血管疾患リハビリ施設Ⅰ）を取得。その後も患者数は増加を続け、専用設備を望む声にも対応する必要性から、今般の心臓リハビリ室の増設に至りました。

現在も毎日20名ほどの入院中と通院の患者さんに、循環器内科や心臓血管外科の専門の医師、看護師、理学療法士、管理栄養士、臨床検査技師らが多職種でチームを組み、安全で効果的な心臓リハビリのため誠心誠意の診療を行っています。今後も、患者さんの早期回復と再発予防のため、私どもスタッフ一同、精一杯の努力を続けてまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

第4回 家庭でできる口腔管理

矯正装置のお手入れ

矯正歯科 五百井秀樹

矯正装置を付けていると、針金やブラケット（矯正用の歯に接着するボタン）にたくさんの食べかすやプラーク（細菌のかたまり）が付着します。針金の陰になっている部分や、歯と歯の間、歯と歯茎の境目にたくさんのプラークが付着し、むし歯や歯周病の原因となります。せっかく美しい歯並びと健康なかみ合わせを手に入れようとしているのに、むし歯や歯周病になってしまったらなんの意味もありません。今回は、矯正装置のお手入れの方法をご紹介します。

○歯ブラシの選び方

歯の表面はブラケットで4つの面に分かれています。歯の先端と歯と歯茎の境目、そして両側の歯と歯の間です。それぞれの場所を磨くときに使いやすい歯ブラシを選びます。

①普通の歯ブラシ（小さめのヘッドで、毛束が2列のものを選びます。）

②タフトブラシ

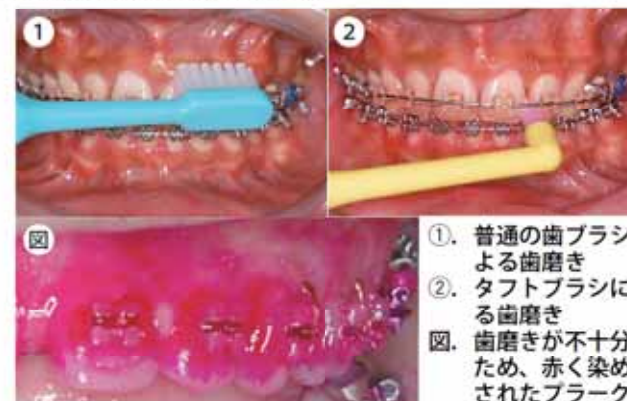
○歯と歯の間の磨き方

タフトブラシの先を歯と歯の間の針金の裏側に差し込むようにして、細かい振動でプラークを落とします。普通の歯ブラシの先端部の毛束三つくらいを使っても大丈夫です。

○歯と歯茎の境目の磨き方

毛先が歯茎に向かうように歯ブラシを横に当て、小幅な振動でプラークを取り除きます。

毎食後、歯磨きをしましょう！



- ① 普通の歯ブラシによる歯磨き
② タフトブラシによる歯磨き
③ 歯磨きが不十分なため、赤く染め出されたプラーク

別府先進医療センターのご紹介

診療録管理室



別府先進医療センターの診療録管理室では、診療録（カルテ）の保管と貸出業務だけでなく、診療情報管理士資格をもつ職員も配置し、患者さんの診療に関する情報も管理・活用し診療に活かしています。

また診療録の診療情報の内容精査を行い、精度の高い情報管理・活用を行えるように、毎日の業務の中で医師や看護師、その他医療に携わるさまざまな職種による診療録作成の補助業務を行っています。

入院・外来共通の1患者1ID方式で診療記録を集中管理しており、日常の診療に欠くことのできない機能を果たしています。

診療録は「診療の記録」として重要であるばかりでなく、「診療報酬の根拠」としての意義が高く、診療録の管理は病院経営の根幹を成す業務であると認識し、関係職員のスキル向上や体制の構築に努めています。

